



News Release

2019年11月19日

株式会社九州フィナンシャルグループ

金融リテラシー向上に向けた教育活動の実施について ～包摂的な金融教育の実践 SDGs視点の取り組み～ (株式会社鹿児島銀行)

九州フィナンシャルグループ（社長 笠原 慶久）の子会社である鹿児島銀行（頭取 松山澄寛）は、「金融リテラシー向上に向けた教育活動」の一環として、金融教育授業を別紙のとおり実施しましたのでお知らせいたします。

本件は、SDGs視点における「包摂的な金融教育の実践」への取り組みであり、当社グループは、今後もお客様・地域の課題解決支援を通じ、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。

なお、グループのSDGsへの取り組みの詳細は当社ホームページ（[企業の社会的責任＞SDGs、持続可能な社会発展・環境保全の取り組み](#)）をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

九州フィナンシャルグループ 経営企画部 岡本
TEL：096-326-5588（ダイヤルイン）

2019年11月19日

各位

株式会社 鹿児島銀行

金融リテラシー向上に向けた教育活動の実施について (包摂的な金融教育の実践～SDGs視点の取り組み)

鹿児島銀行（頭取 松山澄寛）は、当行SDGs取り組み方針「サステナビリティ全体構想」に基づき、「金融リテラシー向上に向けた教育活動」の一環として、金融教育授業を下記のとおり実施いたしました。この取り組みは、包摂的な金融教育の実践を通して、未来を担う子ども達が社会人として自立するための支援を目的としたものです。

当行は、SDGs視点の取り組みとESG経営の実践による具体的な施策の展開を通じて、各種地域課題の解決を図り、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 実施概要

- (1) 日時 2019年11月14日（木）12時00分～12時50分
- (2) 場所 鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校（鹿児島市東坂元3丁目28-1）
- (3) 講師 鹿児島銀行人事部 参事 中村啓子
- (4) 対象 同校3年生、約30名
- (5) 概要 ①金融全般
②給料と生活費のバランス（収支計算）
- (6) 目的 卒業前（就職前）の知的障がいを持つ子ども達が、社会人として自立するための支援
金融犯罪に巻き込まれないために、正しい金融の知識を習得するための支援

2. 授業の様子

授業を受けた子ども達からは、「自立した社会人となるには、適切なお金の管理が必要であると感じた」「金融犯罪に巻き込まれないよう、はっきり断る勇気を持ちたい」といった声が聞かれました。



はじめよう、あたらしいコト。

鹿児島銀行

3. 対応するSDGs



目標 4. 全ての子ども達が平等に教育を受ける機会の提供
(包摂的な金融教育の実践)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

鹿児島銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室 松野下・大田中
TEL : 099-239-9725 (ダイヤルイン)